

圧磨機圧輪記念碑(あつまきあつりん きねんひ)

板橋区指定記念物(史跡) 平成8年3月8日指定

あつまきあつりん
圧磨機圧輪は、黒色火薬を製造する機械です。慶応元年(1865)に幕臣の澤太郎左衛門さわたろうざ えもんが欧州に留学し、ベルギーより購入、その火薬製造技術とともに日本に輸入されました。

当初、圧磨機圧輪を利用した西洋式火薬製造工場は滝野川に建設される予定でしたが、明治維新によって中断しています。明治5年(1872)、新政府があらためて澤を登用し、翌年に旧加賀藩下屋敷平尾邸のうち約3万坪の敷地に火薬製造所(後の東京第二陸軍造兵廠板橋製造所板橋工場)建設を開始しました。同9年の操業開始時より、同39年の黒色火薬から無煙火薬への転換期に至る期間、この圧磨機圧輪が使用されました。

圧磨機圧輪は水流を利用して水車を回し原動力を得ていましたが、元々は旧加賀藩下屋敷内の石神井川に架かる水車跡地(現:加賀2-15)に設置されていたと思われます。

なお、当記念碑は大正11年(1922)、澤の遺徳を称えるために陸軍省が建立したもので、実際に使用されていた圧輪を転用しています。



所在地: 板橋区加賀 1-10

交通: 都営三田線「板橋区役所前駅」徒歩9分

国際興業バス「板橋三丁目」徒歩2分

[板橋駅⇄王子駅 (王22・王22-2)]